

「敬老のハガキ」投函したよ

郵便ポストにハガキを投函する園児たち



9月16日、八幡第二幼稚園の園児48人が、祖父母に日頃の感謝の気持ちをこめて「敬老の日」までに届くように同園近くの郵便ポストに投函しました。

この行事は毎年恒例で、園児たちは、祖父母からの返事をもらえる、往復ハガキを使っています。園児たちは、この日までに、ハガキに祖父母の似顔絵を描いたり、色とりどりの手形やシールなどを飾り付けたりして準備。年長クラスでは、絵などに加えて、「いつもありがとう」や「運動会に来てね」といったメッセージを、先生に教わりながら書いていました。

ハガキに飾り付けをする園児たち

9月11日、「やわたフィッシングスクール」が志水農家組合釣り池センターで行われ、親子連れら31人がコイ釣りを楽しみました。

親子でコイ釣り満喫



協力してコイを釣り上げる親子

マナーや自然の大切さ学ぶ

この教室は、釣りを通して、魚釣りのマナーや、自然環境を守る大切さを学んでもらうことが目的。教育委員会が主催し、今年で15回目を迎えました。参加者は、まず、さくら小学校体育館で、講師の全日本釣り団体協議会公認インストラクターから、仕掛けやえさの作り方を教わりました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

堀口市長から賞状を受け取る増田富久さん(右)



祝100歳

市長が訪問 記念品など贈る

9月10日、堀口市長と小北議長が、今年度で100歳を迎えられる市民12人のうち、在宅で生活されている5人を訪問し、長寿のお祝いをしました。

来年度の2月に100歳を迎えられる増田富久さんは、賞状と記念品が贈呈されると、日々の生活などについて和やかに話されました。子ども4人、孫7人、ひ孫4人に恵まれた増田さんは、現在、長男と二人暮らし。毎朝6時前に起きて、自分で朝食の準備をされます。日中は、洗濯や朝夕2回の花への水やりをされるなど、とてもお元気です。

横断歩道 命を守る 3つの約束

八幡幼稚園で、9月13日、「JAF交通安全教室」が行われ、参加した園児51人が、横断歩道の安全な渡り方などを学びました。

この教室は、交通安全の啓発を行っている日本自動車連盟(JAF)の「JAF交通安全ドレミぐるーぷ」を招き、子どもたちに、音楽を通して、楽しく交通安全を学んでもらおうと、同園のPTAが企画。

はじめに、園児たちは、横断歩道を渡

JAF 交通安全教室



るときは、「飛び出さない」「右、左、右を確認する」「手を挙げて渡る」ことを約束しました。

その後、「JAF交通安全ドレミぐるーぷ」メンバーによる演奏が流れる中、園児たちは、約束を守り、信号が青であることや、車などが来ていないか左右をしっかりと確認し、手を挙げて横断歩道を渡りました。ほかにも、みんなで歌を歌ったり、腹話術人形と一緒に交通安全を学んだりするなど、盛りだくさんの内容に満足げでした。

手を挙げて横断歩道を渡る園児たち